

地域経済動向調査 ～平成29年4-6月期～

(注)DIは、「良い・上昇・増加等」と答えた企業の割合から「悪い・下降・減少等」と答えた企業の割合を引いた値。プラスだと景気の上向き傾向、マイナスだと景気の下向き傾向を示す。

DI 30以上…☀️ 10以上30未満…☁️ ▲10以上10未満…☁️ ▲30以上▲10未満…☁️ ▲30未満…☔️

地域の業況 ～今期の業況

※和歌山・全国のデータは和歌山県商工会連合会「全国景況調査表」を参照

	製造業	建設業	小売業	サービス業
地域	▲ 22.2 ☔️	▲ 54.5 ☔️	▲ 46.7 ☔️	▲ 46.7 ☔️
和歌山県	▲ 20.7 ☔️	▲ 36.0 ☔️	▲ 31.7 ☔️	▲ 7.3 ☁️
全国	▲ 14.3 ☔️	▲ 10.8 ☔️	▲ 36.6 ☔️	▲ 20.1 ☔️

当地域の業況DIは、和歌山や全国に比べて全業種においてマイナス幅が大きく、他地域より業況が悪い。

産業別では、製造業が最も良く、建設業が最も悪い。

サービス業は、和歌山県との差が39.4ポイントもあり、県内全体と比べて大幅に悪かった。

業種別の特徴 ～前年同月と比べた状況

前年同月と比べた状況を見ると、今期における製造業の売上額は、唯一改善している。その他では、いずれの指標も悪化傾向を示している。特に「売上額」と「採算（経常利益）」は、建設業・小売業・サービス業で悪化の度合いが大きい。

	製造業		建設業		小売業		サービス業	
売上額	今期の状況 ☀️	来期の見通し ☁️	今期の状況 ☔️	来期の見通し ☔️	今期の状況 ☔️	来期の見通し ☔️	今期の状況 ☔️	来期の見通し ☔️
常採 利益 (経 済)	今期の状況 ☁️	来期の見通し ☔️	今期の状況 ☔️	来期の見通し ☔️	今期の状況 ☔️	来期の見通し ☔️	今期の状況 ☔️	来期の見通し ☔️
繰り 資金	今期の状況 ☔️	来期の見通し ☔️	今期の状況 ☔️	来期の見通し ☔️	今期の状況 ☔️	来期の見通し ☔️	今期の状況 ☔️	来期の見通し ☔️
(自 社) 業 況	今期の状況 ☁️	来期の見通し ☔️	今期の状況 ☔️	来期の見通し ☔️	今期の状況 ☔️	来期の見通し ☔️	今期の状況 ☔️	来期の見通し ☔️

経営上の問題点

経営上の問題点として、製造業は「需要の停滞」、建設業は「官公需用の停滞」、小売業は「購買力の他地域への流出」、サービス業は「利用者ニーズの変化」や「需要の停滞」が挙げられた。

	製造業	建設業	小売業	サービス業
1位に挙げた問題点のトップ	需要の停滞	官公需用の停滞	購買力の他地域への流出	需要の停滞
1～3位に挙げた問題点合計のトップ	需要の停滞	官公需用の停滞	購買力の他地域への流出	利用者ニーズの変化

《トピックス》訪日外国人の状況 ～外国人はどこから来て何にお金を使っているの？

—平成28年 訪日外国人消費動向調査(観光庁)より

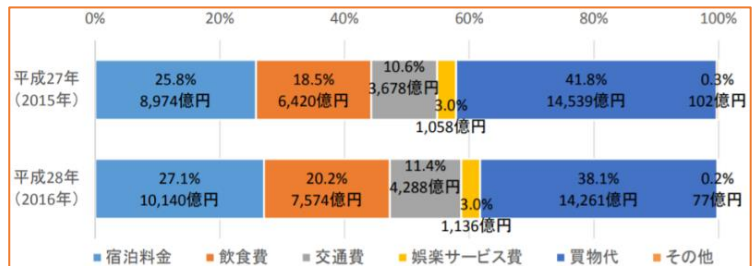
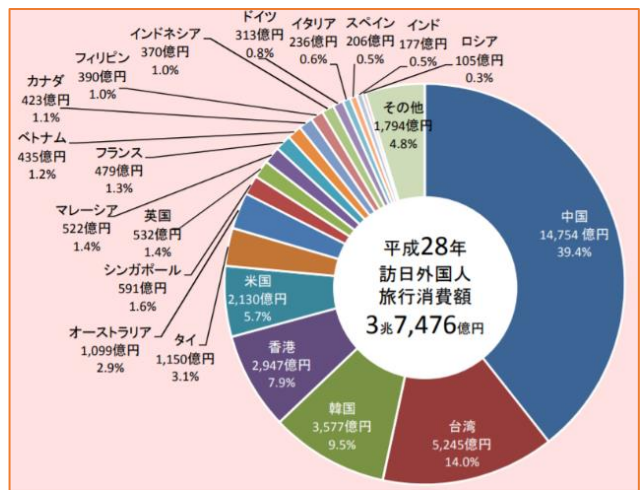
- 平成28年の訪日外国人旅行消費額は3兆7,476億円。1位中国、2位台湾、3位韓国。

平成28年(2016年)の訪日外国人全体の旅行消費額は3兆7,476億円と推計され、前年(3兆4,771億円)に比べ7.8%増加した。
訪日外国人旅行者数は2404万人。

- 訪日外国人旅行消費額の費目別では買い物物代が多い

買物代(38.1%)が最も多いが、前年(41.8%)に比べ減少した。宿泊料金、飲食費及び交通費は前年に比べ増加した。

買物代の内訳でもっと多いのは「菓子類」、次いで「その他食料品・飲料・酒・たばこ」である。娯楽サービス費で最も多いのは「美術館・博物館・動物園・水族館」、次いで「ゴルフ場・テーマパーク」。



—平成28年度和歌山県観光動態調査より

- 平成28年の和歌山県の外国人宿泊客は50万人。中国、香港、台湾の順に多い。

アジアからが74.7%、ヨーロッパからが13.8%、北米からが4.8%である。

主要観光地別では、「和歌浦・紀三井寺・和歌山城 他」が最も多く15万人、続いて「白浜温泉・椿温泉」が10万人、「高野山」が8万人、「田辺・中辺路・百間山・みなべ」が6万人、「勝浦温泉・湯川温泉」が5万人である。

